

再 評 価 調 書

I 事業概要					
事業名	道路事業（道路改良事業）				
地区名	一般県道 <small>きゅうふいなぎわ</small> 給父稲沢線				
事業箇所	稲沢市 <small>いなざわ</small> 片原一色町 <small>かたほらいっしき</small> ～稲沢市 <small>いなざわ</small> 西島本町 <small>にししまほんまち</small>				
事業のあらまし	<p>一般県道給父稲沢線は、稲沢市西部から稲沢市中心部に至る延長 6.7km の路線であり、一般国道 155 号と接続し、尾張北部地域の東西方向の道路ネットワークを形成する重要な路線である。</p> <p>当該事業区間の周辺では、並行する東西路線の主要地方道名古屋祖父江線及び一般県道馬飼井堀線が慢性的に渋滞しており、物流や人の交流などの点で地域の課題となっている。</p> <p>このため、「人の交流を支え地域を活性化する基盤整備」、「国際競争力を強化する基盤整備」を主な目的として、尾張北部地域における交通の円滑化と周辺の渋滞を緩和するとともに、稲沢市内の東西交流の活性化及び岐阜県に至る東西軸の機能強化を図るため、一般県道給父稲沢線のバイパス整備を実施するものである。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1) 人の交流を支え地域を活性化する基盤整備</p> <p>(2) 国際競争力を強化する基盤整備</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更 の推移		事前評価時 (H25)	再評価時 (H29)	変動要因の分析	
	事業期間	平成 25 年度 ～平成 32 年度	平成 25 年度 ～平成 32 年度		
	事業費（億円）	8.0	8.0		
	経費 内訳	工事費	4.0	4.0	
		用補費	3.5	3.5	
		その他	0.5	0.5	
事業内容	バイパス整備 延長 L=0.7km 幅員 W=16m 2車線		同左		
II 評価					
①事業の 必要性の 変化	1) 必要性の 変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道の主要地方道名古屋祖父江線の交通量は 4,671 台/日、混雑度は 1.30、一般県道馬飼井堀線の交通量は 8,785 台/日、混雑度は 1.44（H22 道路交通センサス）と非常に混雑しており、新たなバイパス整備による混雑緩和が必要であった。 ・尾張北部地域の各市町を結ぶ東西方向の道路整備が進んでいないため、東西道路ネットワークの強化が必要であった。 <p>【再評価時の状況】</p> <p>(1) 人の交流を支え地域を活性化する基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道の主要地方道名古屋祖父江線の交通量は 4,743 台/日、混雑度は 1.50、一般県道馬飼井堀線の交通量は 8,472 台/日、混雑度は 1.23（H27 道路交通センサス）と依然として非常に混雑しており、新たなバイパス整備による混雑緩和が必要である。 <p>(2) 国際競争力を強化する基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尾張北部地域の各市町を結ぶ東西方向の道路整備が進んでいないため、依然として東西道路ネットワークの強化が必要である。 <p>【変動要因の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変動要因はない。 			

	<p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業は順調であり、予定通り平成 32 年度までに整備完了が見込まれるため。
<p>Ⅲ 対応方針（案）</p>	
<p>継続</p>	<p>中止：上記①～③の評価で一つでも C 判定があるもの。 継続：上記以外のもの。</p>
<p>Ⅳ 再評価実施の有無と主な評価内容</p>	
<p>■対象（事業完了後 5 年目） □対象外</p> <p>【事業完了後 5 年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度 	